

NEWS LETTER



NO.34

2009.12.20

発行：にほんごひろば岡本

〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22

☎078-453-5931

http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto/

にほんごひろば岡本

「私のにほんごの先生」

私が「にほんごひろば岡本」に参加させて頂いて5年が来ようとしています。

全くの素人で飛び込んだ、日本語支援はそれまで余り意識したことのなかった「にほんごのむずかしさ」をあらためて教えてくれました。また、これは当たり前のことですが、支援者と学習者の最も大きな違いは、私たち支援者は毎日殆ど無意識に日本語を使っていますが、学習者はいつも日本語に神経をとがらせているということ。つまり、我々以上に学習者の方が日本語に敏感だということも教えてくれました。

私が最初に出会ったのはベトナム人のタンさんでした（彼は既に上級クラスだったのでテキストも読解中心）。

ある日彼に、「NOVAの広告で、『日本人はなぜ英語を話せない・・・』という文章を見ましたがこれは、『英語が話せない。』の間違いではないか」と聞かれました。一瞬、私は「どっちも使うやろ！」と思ったのですが、「何故おかしいと思いますか？」と聞きました。彼は「文法的に違う」と答えました。後で分かったことですが、彼は「私は日本語を話すことが出来る」の可能動詞を用いた文型「日本語が話せる」を習っていたのです。しかしそのときの私は、「文法」と言われてもピンと来なかったのです（ほんと、恥ずかしい）。この一件がきっかけでその後、サンクスの日本語講座を受講しました。勿論、ひろばのステップアップ講座も欠かさず（去年は得意のぎっくり腰で途中欠場しましたが）受講しています。



私の名誉（？）のために少し付け加えると、「を話せない」の用法も一般的には使われて

います（読売新聞、朝日新聞など一般紙でも）。但し、インターネットで調べてみると「が」の方が「を」に比べて約2倍半ほど多く使われていますので「が」が優勢であることには間違いのないようです。

また、韓くん（後の学習者紹介に登場します）は1級受験のため神戸大学やひろば以外でも勉強していて、そこで生じた疑問をどんどんぶつけてきます。

先日、「その問題を避けて通れない」を「よけて」と読んだら何故間違いなのかと質問されました。私はとっさに「さけて」と読むのが正解と言ったのですが、辞書で確認すると「さける」も「よける」も「避ける」（但し、「よける」は「除ける」もあり）。

さらに、韓くんが「さけるとよけるはどう違うのですか？」

我々は「さける」「よける」（人目をさける。水たまりをよけて通る。）は、ふだん無意識に使い分けています。これを理論的に説明するのは「う～む！」。

皆さんならどう説明しますか？

これに限らず、日本語には非常によく似た、しかし多少使い方や意味の異なる言葉がたくさんあります。それに加え、日本語文法もけっこう複雑な（ゆるい？）ところがあります。我々がテキストなどを使って教えているときは、はじめから正しい方を選択しているので疑問の生じる余地がないのです。しかし彼らが日頃、自分で勉強したり、目や耳にしたりする日本語は疑問だらけなのです。

日本語に敏感な彼らの疑問こそが、日頃、日本語にやや無神経な（と言っても日本語支援をしている以上、一般の人よりは多少神経を使っているつもりではあるのですが・・・）私自身の日本語勉強にとって非常に大きな糧になっているのです。

つい最近、ひろばで勉強を始めたランディくん（なんとか日本語でレッスンの出来るレベル、今まで文法は習ったことなし）の最初のレッスンで基礎の基礎「～は～です」を勉強しました。ここでやめればよかったのですが、ついうっかり「～が～です」に入ってしまった。（はとがの使い分けは最もむずかしい項目ですね）

彼にひとしきり説明した後、「～は？」で質問されたら「は」で答える、「～が？」で聞

かれたら「が」で答えればまず間違いなし、と説明しました。その直後、私が「何か質問がありますか？」と聞いたら彼は「質問がありません」。私が「質問はありません」と言うと「先生は今、『がで聞かれたらがで答えるように』と言いましたよ」

「う～む。にほんごはむづかしい！」

学習者の皆さんから質問が来るたびに私は大慌てで辞書を引いたり、文法書を見直したり勉強させられます。皆さんからの質問こそが私の「にほんごの先生」なのです。

今後も皆さんからの難問、珍問を期待しています。私の「迷解答」も乞うご期待。

（文・宮武寿美雄 写真・朱晟秀）



学習者紹介

顧 則宇(コ・ソクウ)さん(中国出身)

積極的なアジアンビューティー

7月からひろばに来られている中国出身の顧さんをご紹介します。

アジアンビューティーという言葉がぴったりな顧さんは、モデルかと思うようなスタイルなのに、なんと2人の子供がいます。そのまだ小さい子供たちの洋服を作るのが、彼女の趣味なのです。娘さんにはゆかた、息子さんには甚平(じんべい)まで手作りしてしまいます。それも、子供たちが寝てしまってからやっと自分の時間を持てるので、深夜までかかって作るそうです。手作りの洋服で子供たちも幸せですね。

顧さんは明るくて、積極的で、どこへでも1人でも出掛けます。大阪の難波まで1人で行ったというのを聞いて、びっくりしました。地下鉄に乗り換えて行っただろうに、梅田駅でよく迷子にならなかったと感心します。



これだけしっかりしていて明るさを持った顧さんなら、あっという間に日本に友達がたくさんできそうです。そのためにも楽しい会話ができるように支援していけたらと思っています。

ひろばでは、主に実生活に役立つ会話をシュミレーションして練習しています。今はまだ電子辞書が手放せない2人ですが、毎回楽しい会話がで

きています。周りの方ごめんなさい。ちょっとにぎやかでしょうか。

書道やヨガ、水泳と、積極的にいろいろとチャレンジしている顧さん。次回は何の報告をしてくれるでしょうか。(泉 尚子)

フェルナンデス・サントス・レジナルドさん

ブラジルからようこそ

先日、カタカナ・カードで勉強したあと、私はカードを「オ」「リ」「ン」「ヒ」「ツ」「ク」の順に並べて、別の紙をちぎって「」を書いて「ヒ」のカードの上に、「ッ」を「ツ」のカードに重ねて置いて、レジさんに「さあ読んで！」と声をかけました。声を出して読み終わると、レジさんはにっこり笑いました。私はそれを確かめて「おめでとう！ 2016 ねん リオデジャネイロ オリンピック！」と祝福の言葉をかけました。レジさんは「ありがとう！」と応じながら、まだ何か言いたげな様子を見せました。よく聞くと「2014 ねん サッカーね！」でした。私は、サッカーのワールド・カップもブラジルで開催されることになっていることを思い出し、「おめでとう！」を繰り返しました。

レジさんは、ドイツで独語を勉強していたお姉さんのところへ遊びに行っていたとき、お姉さんのクラスメートだった日本人の綾子(りょうこ)さんと知り合い、結婚しました。そして 2008 年綾子さんといっしょに日本へ来ました。



西宮国際交流センターで日本語の勉強をしていましたが、2009 年 7 月、ラーワンさんの紹介

で、綾子さんに伴われてにほんごひろば岡本へ来ました。



さて、レジさんはいつもニコニコしていてやさしい性格の持ち主です。第一の趣味がサッカーで、仕事の合間をみてもは芦屋市の少年サッカーチームにとけ込んで指導をしているそうです。体格は日本人並みながら、均整の取れた筋肉質の体つきはいかにもスポーツマンという雰囲気を持っています。そしてそれはブラジルで最も盛んな「カポエイラ」という、激しい足蹴りの動きでする格闘技とダンスの中間のスポーツで鍛えられた体なのだそうです。このスポーツは近年神戸を含む日本の主要都市でもはやりだしていて、レジさんは神戸のジムで楽しんでいるのだそうです。

はじめてやってきた日本で積極的に生活を楽しもうとしているレジさんには、早く周りの人と気軽にコミュニケーションがとれるようになってほしくて、勉強にも一段と熱が入っています。
(大西 勇)

温 玉梅さん(中国出身)

何事にも熱中

黒髪をなびかせて、さっそうと自転車に乗ってやってくる色白の佳人が温玉梅さんです。(温家宝 中国首相とはつながりはないけれど、中国でも 温は珍しい名前だそうです)

この4月に中国から来日とのことで、はじめは身振り手振り・電子辞書・メモ白板を用いての悪

戦苦闘の私たちの会話でしたが、一週間ほとんど毎日、さまざまところでの日本語学習(毎日忙しい!!と言っています)の甲斐あって、ずいぶんわかりあえるようになってきました。いつも笑いあいながらの楽しいやりとりです。

中国は山東省のフォーツォー(荷津)で生まれ、小学校の先生をしていたそうです。でも、本当は警察官になりたかったのだとか。(なぜ?と尋ねると、私は男っぽい性格なのだと、はっきり答えました)

結婚して、娘さんが生まれ、3年前に山東省の青島に引越し、そして、家族3人で来日しました。



時々、二人で中国の地図を見ながら両親や兄弟姉妹の暮らすフォーツォーや上海や泰安、そして来日前に暮らした青島のことを聞かせてもらっています。この年末には中国に一家で一時帰国し、北京に遊びに行ったり、青島に帰るのだとか、待ち遠しそうです。

娘(趙 婉月)さんは、本山中学1年、にほんごひろば岡本にも来ています。学校行事のこと、学習成績のこと、娘さんの放課後に別のかばんを届けるために校門で待つことなど、母としての顔も話してくれます。

毎日の暮らしのことも話題になります。食材の買い物(どこの店はお肉がやすいとか)、自転車を3台買った



のだとか（古いものは盗まれたそう）、垂水まで家族で出かけて洋服を買ったとか（自分のものは何枚とか）、話はつきません。

中国のお粥の作り方も教えてくれました。夏は身体を冷やす材料、冬は温める材料を使い、お粥にもいろいろあるそうです。麻雀などのゲームについてたずねたときは、それは 5 年前に止めた、熱中してやる性格なので夫と喧嘩になったので・・・など愉快的話も出ます。

はじめのころ、私に急用ができて、お休みにしたいと思い、温さんはひらがなは読めるので、わかるだろうと、ハガキを出したことがあります。でも彼女は「ひろば」に来てしまい、申し訳ない失敗をしたことがあります。読めても何のことかわからなかったのですね。

そのころに比べれば、今は大丈夫、阪神電車・JR・阪急電車を乗りこなし、特急と普通をまちがえることがあっても、あせったッとして笑って済ます、しっかり者です。

ビザは何度でも更新したい、長く滞日してももっともっと上達し、日本語と中国語の両方を使った仕事がしたい（日本語学校で教えたりするのではなく）と思っています。

頭の良い温さんですから、きっとやりとげることでしょう。

いつも笑顔の温さん、がんばってくださいね。
(里上正子)

韓 永植（ハン・ヤンシク）くん

朱 晟秀（ジュ・サンス）くん

（韓国出身）

真面目派と個性派、どちらも朗らかな好青年

二人とも韓国の国立群山（クンサン）大学の学生で現在は神戸大学海事科学部の留学生です（韓くんは 4 年生、朱くんは 3 年生）。兄貴分の韓くんは何事にも真面目派。ひろばの学習申込書の趣味の欄に「勉強」と書いてありました。授業が終

わると必ず翌週までの宿題を要求します。

弟分の朱くんはいつも愉快的個性派。趣味は雲の写真の撮ることで、そういえば時々雲をつかむような話をして私を悩ませます。真面目派と個性派と性格は異なりますが、どちらも朗らかな好青年です。当初、二人一緒に勉強していたのですが、彼らの希望により今は一人ずつ勉強しています。

今年 2 月に日本にやって来て、来年 2 月に韓国に帰る予定です。日本に来る前に日本語を半年間勉強してきているので日常会話はまずまずこなせます。最終目標は検定試験 1 級合格ですが、韓くんは 6 月の試験に高得点で見事 2 級合格！12 月の 1 級試験合格を目指しています。朱くんは残念ながらアウト。しかし、にこにこしながら「2 級は一度受けたので次は 1 級を受けます」（このわかったような、わからないような考え方が彼の面目躍如？申し訳ありませんが私は責任を負いかねます）。

二人とも卒業後は船に乗る予定ですので、水泳はさぞ達者かと思いきや二人ともなんと「ビール瓶」（日本で言うところのかなづち）。

「船に乗るのに泳げなくてもいいの？」と聞くと「船には救命衣があるから大丈夫！」とここは二人そろっての答え。ちょっと心配です。



日本に来て驚いたことはゴミ出しの時間と分別の厳しさだそうです。しかし、清潔でいいと感心しています。また、コンビニを始め接客業のサービスの良さや親切さにも感心しています（日本

もまだまだ捨てたものでもない?)。

日本語の難しいところは発音が同じで意味の違う言葉の多いことだそうです(日本語は母音が5つしかない。韓国語はもっと多いらしい)。

最後に、二人の性格をよく表している文章作成例をご紹介します。

1) ～**たばかり**なので**まだ**～です。を使った文章を作りましょう。

例) 日本に**来たばかり**なので、まだ何も分かりません。

問題) ～**たばかり**なので**まだ**きれいです。

{韓くんの答}

そうじをした**たばかり**なので**まだ**きれいです。(模範解答ですね)

{朱くんの答}

20 歳を過ぎた**たばかり**なので**まだ**きれいです。(この教室は 20 歳を過ぎた人がかなり多い? 失礼)

2) ～は～と**聞いていたのに**～。を使った文章を作りましょう。

例) 日本人は礼儀正しいと**聞いていたのに**、そうでもありませんでした。

問題) この教室は～と**聞いていたのに**、そうでもありませんでした。

{韓くんの答}

この教室はきびしいと**聞いていたのに**、そうでもありませんでした。(先生がやさしくてよかったですね)

{朱くんの答}

この教室はべっぴんが多いと**聞いていたのに**、そうでもありませんでした。(私は答を聞いて思わず辺りを見渡しました)

彼らの解答(特に朱くん)はすべて練習の為に作文例であって事実とは異なる(?)場合がありますのでご了承ください。

さて、前ページの写真はどちらが朱くん? 韓くん? でしょうか。

(宮武寿美雄)

中川カリナさん(ドミニカ出身)

もっと話してみたい人

彼女の紹介文を書いてくれと言われて、はたと困ってしまった。



中川さんと結婚し、ドミニカ共和国からやってきて 9 年になること。一男一女の母であること。能力試験 1 級の勉強をしていること。最初は人の目を見て話せないくらいシャイだ(だった)ということ。そしてもちろん、とても可愛いこと。こんなことはせいぜい 5 分ほど、根掘り葉掘りインタビューをすれば、彼女から聞き出せることだ。私が困ってしまったのは、こんな上っ面のことは書いてはいけないと思ったからだ。というのは、カリナはとても奥が深い、そしてその奥を私はまだ分かっていない、でも皆さんにはそのまだ浅いところなりともお伝えしたいということなのだ。

人にはいろいろな種類があるものだ。気が合うか、合わないか。育った環境の違いから考え方が違ったり、価値観の相違があったり。人類皆いっしょ、差別はないと思っている私の中にも区別はある。

ちょっと話ただけなのに、もっとこの人と話してみたいと思う人。カリナはまさにそういう人だ。気の合うカテゴリー(これは私が一方的に思っているだけ?)の人。ドミニカと日本というこの違った環境、違うから面白いのか、そんなことは関係ないのか、そのあたりがまだ私には分からないのだが、とにかく彼女のおしゃべりはもっと聞いてみたいということが満載なのだ。

奥が深いと言ったのは、彼女のおしゃべりには「行きました、見ました」よりも「こう思います、こうしたいです」が多いからだと思う。そう、自分の意見を述べられるくらい彼女の日本語は高級だ。その奥を掘り下げるべくフリートーキングで取り上げてみたい話題はたくさんあるものの、いまのところは能力試験の勉強にもっぱら時間が割かれていて残念極まりない。

お気づきかと思うが、前文は1級文法ずくめの文だ。カリナはきっと理解できるだろう。そして私がいろいろなことを話したがっていることを察知してもっと日本語に磨きをかけてくれると思う。

1級合格の暁には、いっぱいしゃべろうね。

(古瀬尚子)

支援者・学習者紹介

金関康子さん

ラグ・パティさん(インド出身)



先月パパになりました！

初めまして、今年7月からお世話になってます、金関康子(かねせき・やすこ)と申します。

今は二人の学習者の方を担当しています。

その一人が、インドから来たラグ・パティさんです。

ラグさんは初めて会ったときから日本語が上

手でした。話し好きの性格がどんどん日本語を上達させているのだと思います。にほんごひろばに来てまだ2カ月ですが、日本には2年近く住んでいます。日本語能力試験3級に合格しており、今度は2級に挑戦したいと頑張っています。

彼はインドに奥さんと最近生まれたばかりの娘さんがいます。離れて暮らして寂しくないですか？と尋ねると、スカイプを使って話をしているから大丈夫とのことでした。でも遂に奥さんとお子さんが日本にやってくるとの事で、とても嬉しそうです。最近は家族と一緒に暮らす為の生活用品の買い出しに忙しそうです。

普段の生活ですが、仕事はエンジニアです。友達とバドミントンをしたり、山に出かけたり、アクティブに過ごしているようです。

私はインドの方を担当するのは、ラグさんで2人目ですが、なぜかインドに行ってみたいなあとインドの本を読んだりしていた時に、インドの学習者の方と出会う機会があり不思議です！ラグさんとのレッスンは日本語を勉強するというより、日々の生活で困っていることを手助けしてあげたり、インドの話を聞いたり・・・と雑談が多いのですが、とても楽しいです。

私もまだまだ始めたばかりなので、学習者の方とともにたくさん勉強していきたくと思っています。ボランティアに参加するのは初めてなので、最初は不安でしたが、にほんごひろばのみなさんはとても気さくな人ばかりで、お話するのが面白いし、このような機会を頂けて感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

支援者紹介

中山美幸さん

はじめまして。この度、にほんごひろば岡本に仲間入りさせて頂くことになりました中山美幸(なかやま・みゆき)です。

私事ですが、この5月に16年間飼っていた猫

を天国に見送りました。阪神大震災も共に乗り越え、いつもそばにいた猫がいなくなり心の中が静



まりかえていた時、たまたま目にした市の広報で、このひろばのことを知り参加させていただきました。

以前、全く英語力ゼロの私が、日常会話ぐらいはと思い英会話教室に通っていた事がありました。その時のレッスンと言えば知っている単語をならべ、後は身振り手振りなどでした。それでも相手に通じた時や先生の話が理解できた時などは、うれしくて楽しくて、また色々な国の先生からその国の文化や習慣などを聞くのが大好きでした。

この異文化コミュニケーションの楽しさをこの教室でも学習者の方と一緒に楽しめたらと思います。

今、担当している学習者はタイ人のデーさんです。全くの初心者の私がテキストの使い方も、今ひとつままならず、毎回デーさんにリードしてもらいながらレッスンをすすめている情けない状態です……

あらためて教える側の難しさと日本語の奥深さに気付かされます。こんな私ですがこれからも学習者の良きサポートができるように、がんばっていききたいと思います。

沖 久代さん

初めまして、沖久代と申します。

二人の息子は独立し、毎日のんびりすぎる生活を送っております。こんなことではいけないと

思い、今まで習ったことのない川柳、マージャン、リコーダー、水彩画等、驚くほどおけい事を始めました。

若い頃から子どもと接するのが好きな私は、30代から学習塾、そろばん教室、ヨガ教室を開いていました。

阪神淡路大震災以後、体調を崩し、やめてしまうことになりました。

この 4～5 年前から、元気になり、ヨガ教室だけ再開しました。



元気になった頃、友人から「にほんごひろば岡本」を教えてもらい、6 月から渡辺サツキちゃんという気立てのよい勉強好きの女の子（小 6）を担当しています。今は学校生活を楽しそうに話してくれます。孫のようにかわいくまじめなサツキちゃんです。

テストの成績がよいときは、ごほうびにスイーツを食べに出かけたりもします。若返る思いです。

少しでもお役に立ちますように、努力したいと思っています。

どうぞ、よろしくお願いします。

学習者自己紹介

曹 微娟（ソウ・ウィエジュ）さん

私は中国から来ました。

私のふるさは中国南地域のちいさな city－山水甲天下(世界で一番景色のきれいな所)と呼ばれている桂林です。6 年前に日本人と結婚して、

今、神戸に住んでいます。子どもは二人います。
5歳の女の子と1歳の男の子です。

結婚して最初の2年間は日本で過ごしました。
いったん中国に戻って、また昨年からは日本に住ん



でいます。

日本について、結婚前に持っていた印象と、こ

の何年かで自分が感じた印象は全然ちがいます。
国と国の区別はひと言で言うことができません。
それは心から一つずつ、一つずつ感じました。例
えば、日本人は礼節を重んじる。仕事を一生懸命
する。後は責任を重んじる……色々です。私はそ
の全部を勉強する必要があると思いました。

ひろばでは日本語の勉強の場のみならず国際
交流もしていきたいと考えています。そして、い
つか、できれば日中友好の掛け橋になればと思い
ます。

私の趣味は歌です。ふるさとの民謡が一番大好
きです。友達と一緒に遊ぶことも大好きです。い
ろんな国のことを知りたいし、いっぱい友達を作
りたいです。

みなさん、よろしくお願いします。

みんなのひろば

【ステップアップ講座】

今年度のステップアップ講座は、9月12日から10月24
日までの土曜日、計4回行なわれました。

ひろばのボランティアの三木知津子さんが講師として
懇切丁寧に話して下さいました。

内容は、日本語ボランティア支援の役割についてやゼロ
初級の指導方法、『みんなの日本語』の使い方、中上級の指導方法まで、多岐にわたって行なわ
れ、支援が始めての人にも、ベテランの支
援者にも、とても有意義な講座となったよ
うです。

【三木知津子さん 祝・出産】

身重な身体なのに、ステップアップ講座
の講師を努めてくださり、受講者全員感謝
の気持ちでいっぱいでした。

その彼女はなんと、最終講義の日（10月
24日）の翌日から陣痛が始まり、10月26
日、可愛い女の子を出産しました！



名前は「碧海（あおい）ちゃんです。
あおいちゃんのそばに三木さんの愛猫が写っています。もう仲良しなんだそうですよ。

★バーベキューパーティー

(2009 年 10 月 31 日 芦屋奥池遊びの広場)

ひろばで一番人気のイベント・BBQ パーティーが 10 月 31 日、快晴の土曜日、芦屋奥池の遊びの広場で行なわれました。参加者はなんと 60 名近くになり、大盛況でした。

紅葉もきれいで、皆さん食事や会話に花を咲かせて、普段会えない学習者や支援者との交流ができました。なつかしい「ハンカチ落としゲーム」や「借り物競争」など、秋の一日を楽しく過ごしました。



借り物競争では“イケメン”を引いたカリナさんがひろば最長老のKさんを選んでいましたよ。参加者はいろんな賞品を手にとれそうでした。

ひろばの受付嬢、勢ぞろいです。



借り物競争。さあ、何て書いてあるのかな？



ハンカチ落としゲーム。追いついたのかな？



お知らせ

【お楽しみ会・スピーチ大会】

12月20日(日曜日)12時から 愛甲専門学院2階(ひろばの向かいのページの建物)
楽しいコーラスや珍しい楽器(ヘルマンハープ)の演奏、大道芸(南京玉すだれ・皿回し)など、お楽しみがいっぱいです。

スピーチ大会もオーディエンス賞をねらって、猛練習している人もいます。
お友達や家族を誘って来てください。

【冬休み】

2009年 12月23日(祝・水曜日) 12月26日(土曜日) 12月30日(水曜日)
2010年 1月2日(土曜日) 1月6日(水曜日) 1月9日(土曜日)

CONTENTS

巻頭言

私のにほんごの先生 (文・宮武寿美雄 写真・朱晟秀)1

学習者紹介

顧 則宇(コ・ソクウ)さん

フェルナンデス・サントス・レジナルドさん3

温 玉梅さん4

韓 永植(ハン・ヤンシック)くん

朱 晟秀(ジュ・サンス)くん5

中川カリナさん6

支援者・学習者紹介

金関康子さん ラグ・パティさん7

支援者紹介

中山美幸さん7

沖 久代さん8

学習者自己紹介

曹 微娟 (ソウ・ウィエジュ)さん8

みんなのひろば

ステップアップ講座

三木知津子さん 祝・出産9

バーベキューパーティー10

お知らせ11

お楽しみ会・スピーチ大会

冬休み



〔編集子のつぶやき〕 今号も新しい仲間をたくさん紹介しました。次号もぞくぞく登場します。Jくん！？楽しみにしてくださいね。(I・M)